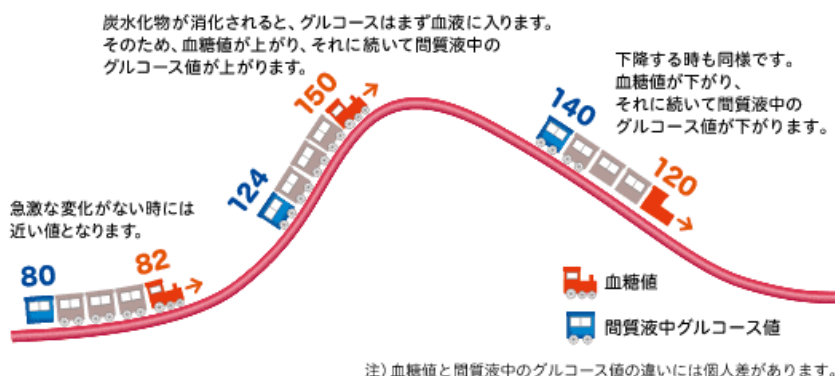


当院ではFreeStyle リブレを開院当初から導入しています。スキャンによる測定で簡単に血糖変動をみることができる“リブレセンサー”の利用者が増えています。その中でよく聞かれる質問について説明します。



Q リブレセンサーの値と指先で測った値が一致しないことがあるのがなぜ？

A リブレセンサーは「間質液中のグルコース濃度」を示し、指先血糖値は「血液中のグルコース濃度」を示しています。血糖値と間質液中グルコース値の間には、高い相関関係があることが証明されていますが、**生理的な違いにより差が生じる場合があります。**その差は特に、食後、インスリン投与後、運動後等の、血糖値が急速に変化しているときに多く見られます。



リブレセンサーは、血糖値とは5~10分程度のタイムラグが発生する可能性があります。

※測定結果と一致しない症状がある、または測定値の正確性に疑問があるときは、指先測定で血糖値を確かめてみてください。

Q リブレセンサー装着初日は低く出ることがあるのはなぜ？

A リブレセンサーの正確性は、使用初日以降に向上すると言われています。装着1日目はやや不確かな値が出てしまうことがあり、指先測定で血糖値を確かめることをお勧めします。初日以降は装着期間を通して一貫して正確な測定が行われます。

Q リブレセンサーで測定した結果を見るにはどうしたらいいですか？

A リブレ Reader (本体) のホーム画面より、「履歴」「日内グラフ」「平均グルコース値」「日内パターン」「目標範囲内であった時間」「低グルコースイベント」「センサーの使用量状況」を簡単に見ることができます。

また、FreeStyle リブレ専用のソフトウェアをダウンロード(無料)すると、より詳しいデータや日々の糖尿病マネジメントに役立つレポートを見ることができます。“リブレ データ管理ソフト”で検索するとダウンロードできます。

※当院で解析希望の方は、リブレ Reader (本体) を受診時に持参してください。



リブレセンサーを使用している患者さんの中から「痒い」「赤くかぶれた」、
「2週間もしないうちにセンサーが剥がれそう/剥がれた」とお聴きします。
リブレセンサーによるかぶれ、途中脱落に対する当院での予防・対策について
紹介します。



◎リブレセンサーによるかぶれの予防・対策

◆ 装着部位は健康な皮膚を選ぶ

乾燥・発疹・過去のリブレセンサーかぶれの痕が残っている等の異常がある皮膚は避け、きれいな皮膚に装着しましょう。また、続けての同一部位への装着は避けてください。

◆ 装着時にリモイスコートを使用する

リモイスコート（皮膚への刺激が少ないノンアルコール性の保護膜形成剤）を使用し、センサー装着による刺激や汚れから皮膚を守ります。
2～3回重ね塗り（必ず乾いてから）することで、より効果的です。



スプレータイプとハンディタイプがあり、当院でお試しでき、ぼうしやさんで購入できます。

◆ 皮膚に優しいテープを貼り、その上からセンサーを装着する

当院ではマルチフィルムロール（皮膚へのストレスを軽減させた透明粘着テープ）や
レプリケアET（熱傷・外傷等様々な創傷の治癒を促進する少し厚めのテープ）を
用意しています。



◆ センサーは優しくゆっくり剥がす

勢いよく剥がすと皮膚が傷つき、かぶれの原因に
なります。入浴中に剥がしたり、皮膚剥離剤を使用
したりして皮膚へ負担がかからないように剥がしましょう。



◆ かぶれた場合は、軟膏・保湿剤でケアする

赤みや痒みがあればステロイドが効果的です。ない場合でも保湿剤でこまめにケアを行い、健康な皮膚を維持することがかぶれの予防につながります。

◎リブレセンサーの途中脱落の予防・対策

◆ 健康でフラットな皮膚に装着する

乾燥やかぶれている皮膚は避けましょう。また、あまり動かない（曲げたり、おったりしない）
フラットな皮膚に装着するとより剥がれにくくなります。

◆ テープ・ネット・リブレバンドを使用する

装着したセンサーの上からテープやネットを使用し補強します。
スポーツの際使用できるリブレバンドもあります。



◆ 肌に密着した洋服を脱ぐ時に気を付ける

※もしも装着後1週間以内に剥がれてしまった場合、新しいセンサーと交換ができます。

[アボットコールセンター（0120-37-8055）](tel:0120-37-8055)へ連絡または当院に剥がれたセンサーを持参してください。